

## Asia-Pacific Drosophila Research Conference 2013 に参加して

M2 増子 恵太

私は 2013 年 5 月 13 日から 16 日まで、韓国のソウルで行われた The 2<sup>nd</sup> Asia-Pacific Drosophila Research Conference 2013 にてポスター発表をさせていただきました。初めての国際学会どころか、海外に行くのも初めてのことで、行く前はいろいろと不安でしたが、有意義な時間を過ごすことができました。会場となったソウル国際大学は空港からバスで 2 時間ほどかかり、周りは緑に溢れ、とても広い会場でした。この学会はショウジョウバエの学会で、発生や神経関連の発表が多く、生態やシグナル伝達、疾病モデルなど、自分の専門分野に限らず様々な研究分野の最先端に触れることができました。Invited Speaker の方々は非常に著名な方ばかりで、中でも倉田先生の先生でもあるゲーリング博士にお会いできたのが感動しました。70 歳とのことでしたが、それを感じさせず、ショウジョウバエの発生と生物の進化にまつわる非常に興味深い講演を拝見することができました。また、他の演者の発表の質疑応答の時に「I don't agree with you...」と反論されていたのがとても印象的で、一流の研究者同士のやり取りに興奮しました。私はポスター発表でしたが、たくさんの方が見に来てくださり、有意義な discussion を行うことができました。ただ、自分の英語力の拙さのせいで、上手くやり取りできなかった場面も多々あったので、これは反省点です。大ホールでの口頭発表では大学院生の方の発表も多く、世界のレベルの高さを感じると共に、自分も頑張るぞ、という気持ちになりました。これを励みに、これからの研究に活かしていきたいと思っています。このような機会を与えてくださったことに感謝申し上げます。また、travel fellowship を頂いたことについて組織委員会の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

